

# VMware Horizon HTML Access ユーザー ガイド

変更日：2017 年 9 月 21 日

VMware Horizon HTML Access 4.6



vmware®

最新の技術ドキュメントは、VMware の Web サイト (<https://docs.vmware.com/jp/>) でご確認ください。このドキュメントに関するご意見およびご感想は、[docfeedback@vmware.com](mailto:docfeedback@vmware.com) までお送りください。

VMware, Inc.  
3401 Hillview Ave.  
Palo Alto, CA 94304  
[www.vmware.com](http://www.vmware.com)

ヴァイエルムウェア株式会社  
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5  
浜松町スクエア 13F  
[www.vmware.com/jp](http://www.vmware.com/jp)

Copyright © 2013 年～ 2017 年 VMware, Inc. All rights reserved. [著作権および商標情報](#)。

# 目次

1	VMware Horizon HTML Access ユーザー ガイド	4
2	ログイン方法	5
3	リモートデスクトップおよびアプリケーションへの接続	6
	リモート デスクトップまたはアプリケーションへの接続	6
	自己署名付ルート証明書の信頼	7
	リモート アプリケーションへの接続での非認証アクセスの使用	8
	ログオフまたは切断	9
4	リモートデスクトップおよびアプリケーションの使用	11
	ショートカット キーの組み合わせ	11
	H.264 デコード	15
	タイム ゾーンの設定	15
	サイドバーの使用	15
	テキストのコピーおよび貼り付け	19
	コピーおよび貼り付け機能の使用	20
	クライアントとリモート デスクトップ間でのファイルの転送	21
	デスクトップからクライアントにファイルをダウンロード	22
	クライアントからデスクトップへファイルのアップロード	22
	DPI 同期の使用	22
5	外部デバイスの使用	24
	国際キーボード	24
	スクリーン解像度	25
	複数のモニターの使用	25
	音声	26
	Web カメラとマイクでリアルタイム オーディオ ビデオ機能を使用	26
6	Horizon Client のトラブルシューティング	28
	リモート デスクトップの再起動	28
	リモート デスクトップまたはリモート アプリケーションのリセット	29
	Workspace ONE モードでのサーバへの接続	29

# VMware Horizon HTML Access ユーザー ガイド

1

この『VMware Horizon HTML Access ユーザー ガイド』では、クライアント システムにソフトウェアをインストールせずに、VMware Horizon® HTML Access™ からリモート デスクトップやアプリケーションに接続し、使用方法について説明します。

オペレーティング システムに Horizon Client ソフトウェアがインストールされていないクライアント デバイスや、インストールできないクライアント デバイスを使用する場合には、HTML Access を使用してリモート デスクトップやアプリケーションにアクセスします。Horizon Client ソフトウェアはより優れた機能と性能を提供します。

HTML Access 4.6 では以下の Web ブラウザがサポートされます。

- Chrome 60 および 61
- Android デバイスの Chrome 59
- Internet Explorer 11
- Safari 9 および 10
- iOS 9 と iOS 10 モバイル デバイスの Safari
- Firefox 54 および 55
- Microsoft Edge 40

リモート デスクトップにインストールされたソフトウェアの詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

## ログイン方法

リモート デスクトップまたはアプリケーションにログインして接続する前に、社内のシステム管理者がユーザー アカウントを設定する必要があります。システム管理者がユーザー アカウントを設定していない場合は、Horizon Client または HTML Access を使用できません。

Horizon Client からサーバ名とドメイン名を求められた場合は、システム管理者に入力するサーバ名と選択するドメインを問い合わせてください。一部の企業では、Horizon Client により、正しいサーバに自動的に接続され、正しいドメインが選択されます。

ユーザー名やパスワードがわからない場合、またはパスワードのリセット方法がわからない場合は、社内のシステム管理者に問い合わせてください。

ログインして作業を始める準備が整ったら、[リモート デスクトップまたはアプリケーションへの接続](#)を参照してください。

# リモートデスクトップおよびアプリケーションへの接続

# 3

Horizon Client を使用して、リモート デスクトップおよびアプリケーションに接続できます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- リモート デスクトップまたはアプリケーションへの接続
- 自己署名付ルート証明書の信頼
- リモート アプリケーションへの接続での非認証アクセスの使用
- ログオフまたは切断

## リモート デスクトップまたはアプリケーションへの接続

使用を許可されているリモート デスクトップおよびアプリケーションに接続するには、Active Directory の認証情報を使用します。

### 前提条件

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログイン認証情報を取得します。
- ログイン用の NETBIOS ドメイン名を取得します。例として、`mycompany.com` ではなく `mycompany` を使用してください。

### 手順

- 1 [ログイン] ダイアログ ボックスで RSA SecurID の認証情報または RADIUS の認証証明書の入力を求められた場合、ユーザー名とパスコードを入力して [ログイン] をクリックします。

パスコードには、PIN とトークンで生成された番号が含まれる場合があります。

- 2 再度、RSA SecurID 認証情報または RADIUS 認証情報を入力するダイアログが表示されたら、トークンで次に生成された番号を入力します。

PIN および、過去に生成され、入力したものと同一番号は入力しないでください。必要に応じて、新しい番号が生成されるのを待ちます。

この手順は、最初のパスコードの入力をミスした、または RSA サーバの設定が変更された時にのみ、必要になります。

### 3 [ログイン] ダイアログ ボックスで、ログイン認証情報を入力します。

- a [ユーザー名] テキスト ボックスに、*username*、*domain\username*、または *username@domain* のいずれかの形式で有効な Active Directory ユーザー名を入力します。

[ドメイン] テキストボックスが無効になっている場合、*domain\username* または *username@domain* のいずれかの形式を使用する必要があります。

- b パスワードを入力してください。

- c (オプション) [ドメイン] フィールドが有効で、ドメイン名が正しく入力されていない場合には、このフィールドから選択します。

---

**注:** ログイン プロセスを中断するには、ログイン プロセスが完了する前に [キャンセル] をクリックします。

---

- 4 (オプション) デスクトップおよびアプリケーションの選択画面で、アクセスする項目を選択する前に、お気に入りとしてリモート デスクトップやアプリケーションをマークするには、デスクトップやアプリケーションアイコンの中にある灰色の星をクリックします。

星のアイコンが灰色から黄色に変わります。次回ログインするときに、ブラウザ ウィンドウの右上部分にある星のアイコンをクリックして、お気に入りのみを表示できます。

- 5 アクセスするリモート デスクトップまたはアプリケーションのアイコンをクリックします。

リモート デスクトップまたはアプリケーションがブラウザに表示されます。ナビゲーション サイドバーも利用できます。ブラウザ ウィンドウの左側にあるタブをクリックして、サイドバーを表示できます。サイドバーを使用して、他のリモート デスクトップやアプリケーションにアクセスしたり、[設定] ウィンドウを表示したり、テキストをコピーおよび貼り付けたり、その他の操作を実行したりできます。

#### 次のステップ

デスクトップやアプリケーションに接続した後にすぐ切断され、リンクをクリックしてセキュリティ証明書を受け入れるよう求めるプロンプトが表示される場合、ユーザーはその証明書を信頼するかどうかを選択できます。[自己署名付ルート証明書の信頼](#)を参照してください。

## 自己署名付ルート証明書の信頼

リモート デスクトップやアプリケーションに初めて接続するときに、リモート マシンによって使用される自己署名証明書を受け入れるかどうかを確認するプロンプトがブラウザで表示される場合があります。リモート デスクトップまたはアプリケーションに接続するには、証明書を信頼する必要があります。

ほとんどのブラウザでは、自己署名証明書を永続的に信頼するオプションを利用できます。証明書を永続的に信頼することを選択しない場合には、ブラウザを再起動するときに毎回証明書を確認する必要があります。Safari ブラウザを使用している場合、接続を確立するにはセキュリティ証明書を永続的に信頼する必要があります。

**手順**

- 1 信頼されない証明書の警告や、接続がプライベートではないという警告がブラウザに表示される場合、証明書を調べて、ユーザーの企業によって使用されている証明書と一致しているか確認します。

Horizon 管理者に問い合わせる必要がある場合があります。たとえば、Chrome ブラウザでは、次の手順を使用します。

- a アドレス バーのロック アイコンをクリックします。
- b [証明書情報] リンクをクリックします。
- c お使いの証明書が、ユーザーの企業によって使用されている証明書と一致していることを確認します。

Horizon 管理者に問い合わせる必要がある場合があります。

- 2 セキュリティ証明書を受け入れます。

証明書を受け入れるあるいは常に信頼するためのプロンプトは各ブラウザで異なります。たとえば、Chrome ブラウザでブラウザ ページの [詳細] リンクをクリックして、[*server-name* にアクセスする（安全ではありません）] をクリックすることができます。

Safari ブラウザでは、次の手順で証明書を永続的に信頼します。

- a 信頼されない証明書のダイアログ ボックスが表示されたら、[証明書の表示] ボタンをクリックします。
- b [常に信頼] チェック ボックスを選択し、[続ける] をクリックします。
- c 入力を求められたらパスワードを入力し、[設定の更新] をクリックします。

リモート デスクトップまたはアプリケーションが起動します。

## リモート アプリケーションへの接続での非認証アクセスの使用

Horizon 管理者は、非認証アクセス機能を使用して、非認証アクセス ユーザーを作成し、これらのユーザーに接続サーバ インスタンスにあるリモート アプリケーションに対する資格を付与できます。非認証アクセス ユーザーは、サーバに匿名でログインして、これらのリモート アプリケーションに接続できます。

**前提条件**

Horizon 管理者から以下の情報を取得します。

- サーバに接続するために使用するサーバ名。
- 匿名でログインするために使用する非認証アクセス ユーザー アカウント。

**手順**

- 1 ブラウザを開きます。リモート アプリケーションへの非認証アクセスが許可された接続サーバ インスタンスに接続するには、次のいずれかの URI 構文を使用します。

- `https://authority-part?unauthenticatedAccessEnabled=true`
- `https://authority-part?unauthenticatedAccessEnabled=true&unauthenticatedAccessAccount=anonymous_account`



上の URI 構文の *authority-part* にはサーバのアドレスを指定します。オプションで、デフォルト以外のポート番号を指定できます。サーバ名は DNS 構文に一致する必要があります。ポート番号を指定するには、*server-address:port-number* を使用します。*anonymous\_account* は、匿名ログイン用に作成される非認証アクセスユーザー アカウントです。

接続サーバとの接続には常に SSL を使用します。SSL 接続のデフォルト ポートは 443 です。接続サーバがデフォルト ポートを使用するように構成されていない場合、次の例の形式を使用します。

**horizon.company.com:1443。**

- 2 (オプション) `unauthenticatedAccessAccount` クエリを指定していない場合には、必要に応じて [ユーザー アカウント] ドロップダウン メニューから非認証アクセスユーザー アカウントを選択し、[送信] をクリックします。

使用可能な非認証アクセスユーザー アカウントが 1 つしかない場合、このユーザー アカウントがデフォルトで選択されます。

アプリケーション選択ウィンドウが表示されます。

- 3 アクセスするリモート アプリケーションのアイコンをクリックします。

リモート アプリケーションがブラウザに表示されます。ナビゲーション サイドバーも利用できます。ブラウザの左側にあるタブをクリックして、サイドバーを表示できます。サイドバーを使用すると、他のリモート アプリケーションへのアクセス、[設定] ウィンドウの表示、テキストのコピー アンド ペーストなどの操作の実行が可能になります。

**注:** 非認証のアプリケーション セッションに再接続することはできません。クライアントから切断されると、RDS ホストはローカルのユーザー セッションから自動的にログオフします。

## ログオフまたは切断

いくつかの構成では、ログオフせずにリモート デスクトップから切断すると、デスクトップ内のアプリケーションは開いたままになる場合があります。サーバから切断し、リモート アプリケーションを実行したままにすることもできます。

### 手順

- ◆ サーバからログアウトして、デスクトップから切断（ただしログアウトはしません）するか、ホスト型アプリケーションを終了します。

オプション	アクション
リモート デスクトップまたはアプリケーションに接続する前に、デスクトップとアプリケーションの選択画面から	画面の右上隅にある [ログアウト] ツールバー ボタンをクリックします。
リモート デスクトップやアプリケーションに接続したときにサイドバーから	サイドバーの上部にある [ログアウト] ボタンをクリックします。

## ◆ リモート アプリケーションを閉じます。

オプション	アクション
アプリケーション内から	通常の方法でアプリケーションを終了します。たとえば、アプリケーション ウィンドウの隅の [X] (閉じる) ボタンをクリックします。
サイドバーから	サイドバーの [実行中] リストにあるアプリケーションのファイル名の横にある [X] をクリックします。

## ◆ リモート デスクトップからログオフまたは切断します。

オプション	アクション
デスクトップのオペレーティング システムで	ログオフするには、Windows の [スタート] メニューを使用してログオフします。
サイドバーから	<p>ログオフおよび切断するには、サイドバーの [実行中] リストにあるデスクトップ名の横の [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[ログオフ] を選択します。リモート デスクトップで開いているファイルが、保存されずに閉じられることになります。</p> <p>ログオフせずに切断するには、[実行中] リストにあるデスクトップ名の横の [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[閉じる] を選択します。</p> <p><b>注:</b> Horizon 管理者は、切断時に自動的にログオフするようにリモート デスクトップを設定できます。その場合、デスクトップで開いているアプリケーションは終了します。</p>
URI の使用	ログオフするには、URI <code>https://ConnectionServerFQDN?desktopId=desktop_name&amp;action=logoff</code> を使用します。

# リモートデスクトップおよびアプリケーションの使用

Horizon Client を使用して、リモート デスクトップおよびアプリケーションに接続できます。ナビゲーションを支援する Horizon Client の追加機能を使用できます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- ショートカット キーの組み合わせ
- H.264 デコード
- タイム ゾーンの設定
- サイドバーの使用
- テキストのコピーおよび貼り付け
- クライアントとリモート デスクトップ間でのファイルの転送
- DPI 同期の使用

## ショートカット キーの組み合わせ

使用する言語に関係なく、一部のキーの組み合わせはリモート デスクトップやアプリケーションに送信できません。

Web ブラウザによって、一部のキーおよびキーの組み合わせをクライアントおよび送付先システムの両方に送信することができます。他のキーおよびキーの組み合わせについては、ローカルでの入力だけが処理され、送付先システムには送信されません。システムで動作するキーの組み合わせは、ブラウザ ソフトウェア、クライアント オペレーティング システム、および言語設定によって異なります。

---

**注:** Mac を使用している場合、キーの組み合わせを使用して、テキストを選択、コピー、および貼り付ける場合に、Command キーを Windows の Ctrl キーにマッピングできます。この機能を有効にするには、サイドバーにある [[設定] ウィンドウを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[コマンド A、コマンド C、コマンド V、およびコマンド X を有効にする] をオンにします（このオプションは、Mac を使用している場合にのみ [設定] ウィンドウに表示されます）。

---

以下のキーおよびキーの組み合わせは、リモート デスクトップで動作しない場合があります。

- Ctrl + T
- Ctrl + W
- Ctrl + N

- コマンド キー
- Alt + Enter
- Ctrl + Alt + 任意のキー

---

**重要:** Ctrl + Alt + Del キーを入力するには、[Ctrl+Alt+Delete を送信] ツールバー ボタンを使用します。

---

- Caps Lock + *modifier\_key* (Alt または Shift など)
- ファンクション キー (Chromebook を使用する場合)
- Windows キーの組み合わせ

次の Windows キーの組み合わせは、デスクトップで Windows キーを有効にしている場合、リモート デスクトップでは動作しません。この機能を有効にするには、サイドバーにある [[設定] ウィンドウを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[デスクトップで Windows キーを有効にします] をオンにします。

---

**重要:** [デスクトップで Windows キーを有効にします] をオンにした後は、Ctrl + Win キー (Windows システム)、Ctrl + Command キー (Mac)、または Ctrl + Search キー (Chromebook) を押して Windows キーの押下をシミュレーションします。

---

これらのキーの組み合わせは、RDS ホストで提供されるリモート アプリケーションでは動作しません。RDS ホストで提供される Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2012 R2 シングルユーザー デスクトップおよびセッションベース デスクトップでは表示されているように動作します。

Windows 8.x や Windows Server 2012 R2 オペレーティング システムのリモート デスクトップで動作するいくつかのキーの組み合わせは、Windows 7、Windows Server 2008 R2、または Windows 10 オペレーティング システムのリモート デスクトップでは動作しません。

表 4-1. Windows 10 リモート デスクトップの Windows キーのショートカット

キー	アクション	制限
Win	スタートを開くまたは閉じます。	
Win + A	アクション センターを開きます。	
Win + E	ファイル エクスプローラーを開きます。	
Win + G	ゲームが開いているときに、ゲーム バーを開きます。	
Win + H	[共有] チャームを開きます。	
Win + I	[設定] チャームを開きます。	
Win + K	[接続] クイック アクションを開きます。	
Win + M	すべてのウィンドウを最小化します。	
Win + R	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開きます。	
Win + S	[検索] を開きます。	
Win + X	[クイック リンク] メニューを開きます。	
Win + , (カンマ)	デスクトップを一時的に表示します。	
Win + Pause	[システム プロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。	Chromebooks や Mac には Pause キーはありません。

キー	アクション	制限
Win + Shift + M	デスクトップで最小化されたウィンドウを元に戻します。	Safari ブラウザでは動作しません。
Win + Alt + 数字キー	デスクトップを開いて、数字で示す位置にタスクバーでピン留めされているアプリケーションのジャンプ リストを開きます。	Chromebook では動作しません。
Win + Enter	ナレーターを開きます。	

表 4-2. Windows 8.x および Windows Server 2012 R2 リモート デスクトップの Windows キー ショートカット

キー	アクション	制限
Win + F1	Windows ヘルプとサポートを開きます。	Safari ブラウザでは動作しません。
Win	[スタート] 画面を表示または非表示にします。	
Win + B	通知領域にフォーカスを設定します。	
Win + C	チャーム パネルを開きます。	
Win + D	デスクトップを表示および非表示にします。	Safari ブラウザでは動作しません。回避策 : Mac では Command + D キーを押します。
Win + E	ファイル エクスプローラーを開きます。	
Win + H	[共有] チャームを開きます。	
Win + I	[設定] チャームを開きます。	
Win + K	[デバイス] チャームを開きます。	
Win + M	すべてのウィンドウを最小化します。	
Win + Q	[検索] チャームを開き、アプリケーションがアプリケーション検索をサポートしている場合、すべての場所または開いているアプリケーション内を検索します。	
Win + R	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開きます。	
Win + S	[検索] チャームを開いて、Windows と Web を検索します。	
Win + X	[クイック リンク] メニューを開きます。	
Win + Z	アプリケーションで利用可能なコマンドを表示します。	
Win + , (カンマ)	このキーの組み合わせを押し続けている限り、デスクトップを一時的に表示します。	<b>注:</b> Windows 2012 R2 オペレーティング システムでは動作しません。
Win + Pause	[システム プロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。	Chromebooks や Mac には Pause キーはありません。
Win + Shift + M	デスクトップで最小化されたウィンドウを元に戻します。	Safari ブラウザでは動作しません。回避策 : Mac では Command + D キーを押します。
Win + Alt + 数字キー	デスクトップを開いて、数字で示す位置にタスクバーでピン留めされているアプリケーションのジャンプ リストを開きます。	Chromebook では動作しません。
Win + 上向き矢印	ウィンドウを最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 下向き矢印	画面から現在のアプリケーションを削除するか、デスクトップ ウィンドウを最小化します。	Chromebook では動作しません。

キー	アクション	制限
Win + 左向き矢印	アプリケーションまたはデスクトップ ウィンドウを画面の左側で最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 右向き矢印	アプリケーションまたはデスクトップ ウィンドウを画面の右側で最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + Home	アクティブなデスクトップ ウィンドウ以外のすべてのウィンドウを最小化します (Win + Home キーをもう一度押すとすべてのウィンドウが元に戻ります)。	Safari ブラウザでは動作しません。
Win + Shift + 上向き矢印	デスクトップ ウィンドウを画面の上下にまで拡大します。	Chromebook では動作しません。
Win + Shift + 下向き矢印	Win + Shift + 上向き矢印キーを押した後に、幅を維持しながらデスクトップ ウィンドウの縦幅を元に戻します。または、アクティブなデスクトップ ウィンドウを最小化します。	Chromebook では動作しません。
Win + Enter	ナレーターを開きます。	

表 4-3. Windows 7 および Windows Server 2008 R2 リモート デスクトップの Windows キー ショートカット

キー	アクション	制限
Win	[スタート] メニューを開くまたは閉じます。	
Win + Pause	[システム プロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。	Chromebooks や Mac には Pause キーはありません。
Win + D	デスクトップを表示および非表示にします。	Safari ブラウザでは動作しません。回避策 : Mac では Command + D キーを押します。
Win + M	すべてのウィンドウを最小化します。	
Win + E	コンピューター フォルダを開きます。	
Win + R	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開きます。	
Win + 上向き矢印	ウィンドウを最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 下向き矢印	ウィンドウを最小化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 左向き矢印	アプリケーションまたはデスクトップ ウィンドウを画面の左側で最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 右向き矢印	アプリケーションまたはデスクトップ ウィンドウを画面の右側で最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + Home	アクティブなデスクトップ ウィンドウを除くすべてのウィンドウを最小化します。	Safari ブラウザでは動作しません。
Win + Shift + 上向き矢印	デスクトップ ウィンドウを画面の上下にまで拡大します。	Chromebook では動作しません。
Win + G	実行中のデスクトップ ガジェットを順に切り換えます。	
Win + U	[コンピューターの簡単操作センター] を開きます。	

## H.264 デコード

Chrome ブラウザを使用している場合、リモート デスクトップやアプリケーション セッションに HTML Access クライアントで H.264 デコードを許可できます。

H.264 デコードを許可すると、エージェントが H.264 エンコードをサポートする場合に、HTML Access クライアントは H.264 デコードを使用します。エージェントが H.264 エンコードをサポートしない場合、HTML Access クライアントは JPEG/PNG デコードを使用します。

リモート デスクトップやアプリケーションに接続している場合、サイドバーから利用できる [設定] ウィンドウの [H.264 デコードを許可する] オプションをオンにして H.264 デコードを許可できます。新しい設定を有効にするには、リモート デスクトップやアプリケーションを切断してから再接続する必要があります。

リモート デスクトップやアプリケーションに接続していない場合、デスクトップおよびアプリケーション選択画面の右上隅にある [設定] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] ウィンドウで [H.264 デコードを許可する] オプションをオンにできます。設定を変更した後に接続したセッションで、新しい設定が有効になります。

## タイム ゾーンの設定

リモート デスクトップまたはアプリケーションで使用されるタイムゾーンは、ローカル システムのタイムゾーンに自動的に設定されます。ただし、特定の夏時間ポリシーにより、タイムゾーンを正しく特定できない場合、HTML Access クライアントを使用するときにタイムゾーンを手動で設定する必要があります。

リモート デスクトップまたはアプリケーションに接続する前に、適切なタイム ゾーン情報を手動で設定するには、デスクトップおよびアプリケーション選択画面の右上隅にある [設定] ツールバー ボタンをクリックします。[設定] ウィンドウで [タイム ゾーンを自動的に設定する] オプションをオフにして、ドロップダウン メニューからタイム ゾーンを 1 つ選択します。

選択した値は、リモート デスクトップまたはアプリケーションに接続するときに優先的に使用されるタイム ゾーンとして保存されます。

リモート デスクトップまたはアプリケーションにすでに接続している場合は、デスクトップおよびアプリケーション選択画面に戻り、現在のタイム ゾーン設定を変更します。

サイドバーからアクセスできる [設定] ウィンドウでは、[タイム ゾーンを自動的に設定する] オプションは使用できません。

---

**注:** [タイム ゾーンを自動的に設定する] オプションが **true** に設定されている場合、Android システムで Chrome ブラウザを使用するときに Android のシステムのタイムゾーンを変更しても、新しいタイムゾーンはリモート デスクトップに自動的に同期されません。これは、Android システムの Chrome の制約です。選択したタイムゾーンに同期するには、Android と Chrome ブラウザを再起動する必要があります。

---

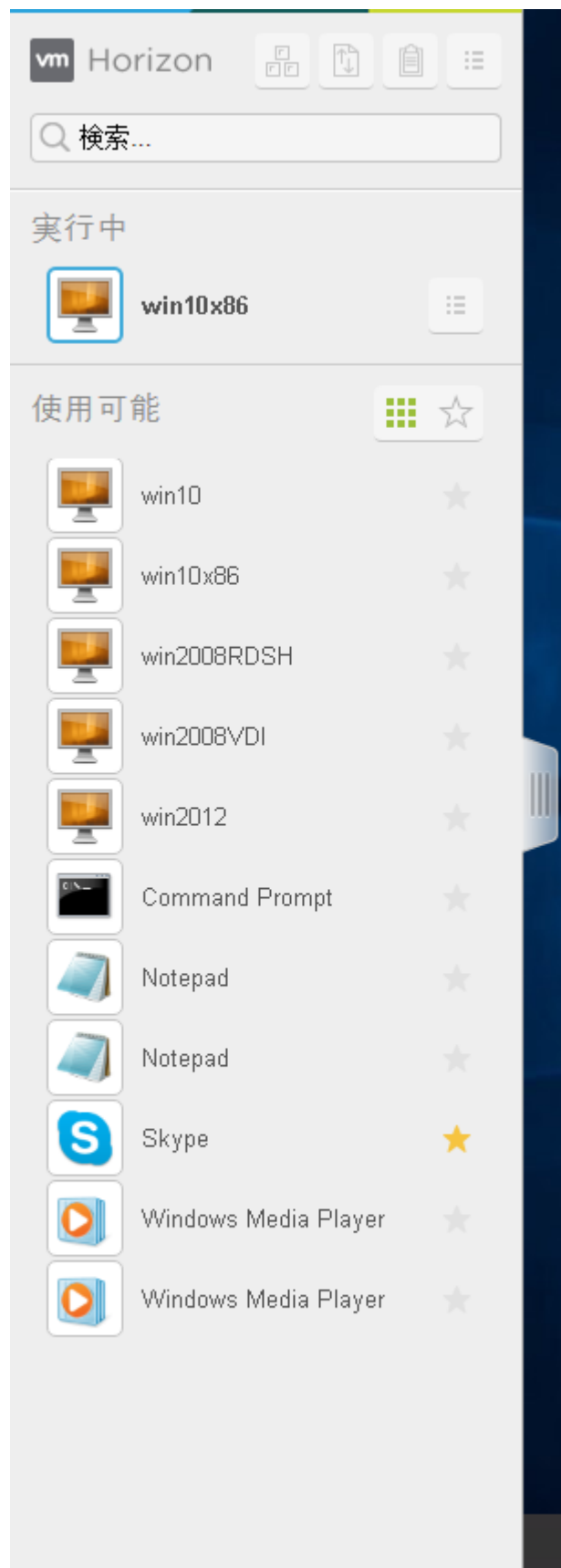
## サイドバーの使用

リモート デスクトップまたはホスト型アプリケーションに接続したら、サイドバーを使用して、他のアプリケーションおよびデスクトップを起動したり、実行中のデスクトップとアプリケーションを切り替えたり、その他の操作を実行したりできます。

リモート アプリケーションまたはデスクトップにアクセスすると、サイドバーが画面左側に表示されます。サイドバー タブをクリックして、サイドバーを表示または非表示にします。このタブは上下にスライドできます。



図 4-1. リモート デスクトップまたはアプリケーションを起動したときに表示されるサイドバー



実行中のアプリケーションの横にある展開矢印をクリックして、そのアプリケーションで開いているドキュメントのリストを表示します。しかし、たとえば 2 台の異なるサーバにホストされている別々の Excel プログラムで開いている 2 つの Excel ドキュメントがある場合、Excel アプリケーションはサイドバーの [実行中] リストに 2 度表示されません。

サイドバーからいくつかの操作を実行できます。

表 4-4. サイドバーの操作

アクション	手順
サイドバーを表示	リモート アプリケーションまたはデスクトップが開いている場合、サイドバー タブをクリックします。このサイドバーが開いているときでも、アプリケーションまたはデスクトップ ウィンドウで操作を実行できます。
サイドバーを非表示にする	サイドバー タブをクリックします。
リモート アプリケーションまたはデスクトップを起動する	サイドバーの [使用可能] でアプリケーションまたはデスクトップの名前をクリックします。デスクトップが最初に表示されます。
リモート アプリケーションまたはデスクトップを検索する	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ [検索] ボックスをクリックし、アプリケーションまたはデスクトップの名前を入力します。</li> <li>■ アプリケーションまたはデスクトップを起動するには、検索結果でアプリケーションまたはデスクトップの名前をクリックします。</li> <li>■ サイドバーのホーム表示に戻るには、検索ボックスの [X] をタップします。</li> </ul>
お気に入りのアプリケーションまたはデスクトップの一覧を作成する	サイドバーの [使用可能] リストにあるデスクトップやアプリケーションの名前の横にある灰色の星をクリックします。次に、[使用可能] の横にある [お気に入りを表示] ツールバー ボタン (星のアイコン) をクリックして、お気に入りだけのリストを表示できます。
アプリケーションまたはデスクトップを切り替える	サイドバーの [実行中] リストにあるアプリケーション ファイル名またはデスクトップ名をクリックします。
[コピーおよび貼り付け] パネルを開く	サイドバーの上部にある [コピーおよび貼り付け] ボタンをクリックします。このボタンを使用して、ローカル クライアント システムにあるアプリケーションにテキストをコピーしたり、このアプリケーションからテキストをコピーしたりします。詳細については、 <a href="#">テキストのコピーおよび貼り付け</a> を参照してください。iOS Safari では、コピーおよび貼り付けの機能がサポートされていないため、このボタンを使用できません。
[転送ファイル] ウィンドウを開く	サイドバーの上部の、[ファイル転送] ボタンをクリックして、リモート デスクトップからファイルをダウンロードしたり、リモート デスクトップへファイルをアップロードします。詳細は、 <a href="#">デスクトップからクライアントにファイルをダウンロードおよびクライアントからデスクトップへファイルのアップロード</a> を参照してください。
Command + A、Command + C、Command + V、および Command + X を有効にする	このオプションは、Mac を使用している場合にのみ [設定] ウィンドウに表示されます。サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックします。この機能が有効になっていると、Mac の Command キーがリモートの Windows デスクトップやアプリケーションの Ctrl キーにマッピングされます。たとえば、Mac キーボードの Command + A キーは、リモートの Windows デスクトップやアプリケーションで Ctrl + A キーを押したときと同じ効果になります。
動作中のデスクトップを閉じる	<p>サイドバーの [実行中] リストにあるデスクトップ名の横の [メニューを開く] ボタンをクリックして、実行する操作を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ [閉じる] を選択すると、オペレーティング システムからログオフせずに、デスクトップから切断します。しかし、View 管理者は、切断された時点で自動的にログオフするようにデスクトップを設定できます。この場合、開いているアプリケーションで保存されていない変更は失われます。</li> <li>■ [ログオフ] を選択すると、オペレーティング システムからログオフして、デスクトップから切断します。開いているアプリケーションで保存されていない変更は失われます。</li> </ul>

アクション	手順
動作中のアプリケーションを閉じる	<p>サイドバーの [実行中] リストにあるアプリケーション名のファイル名の横にある [X] をクリックします。アプリケーション名の横にある [X] をクリックして、アプリケーションを修了して、そのアプリケーションの開いているすべてのファイルを閉じます。</p> <p>これらのファイルへの変更を保存するように求められます。</p>
デスクトップをリセットする	<p>サイドバーの [実行中] リストにあるデスクトップ名の横の [メニューを開く] ボタンをクリックして、[リセット] を選択します。リモート デスクトップで開いているすべてのファイルが、保存されずに閉じられることになります。デスクトップをリセットできるのは、管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。</p>
デスクトップの再起動	<p>サイドバーの [実行中] リストにあるデスクトップ名の横の [メニューを開く] ボタンをクリックして、[再起動] を選択します。デスクトップ オペレーティング システムでは、通常、再起動する前に未保存データを保存するように求められます。デスクトップを再起動できるのは、管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。</p>
実行中のすべてのアプリケーションをリセットする	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[実行中のすべてのアプリケーションをリセットします] をクリックします。保存されていないすべての変更は失われます。</p>
Windows キーを含むキーの組み合わせを使用する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[デスクトップで Windows キーを有効にします] をオンにします。詳細については、<a href="#">ショートカットキーの組み合わせ</a>を参照してください。</p>
現在の作業領域に Ctrl+Alt+Del を送信する	<p>サイドバーの上部にある [Ctrl+Alt+Delete を送信] ツールバー ボタンをクリックします。</p>
サーバから切断する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックするか、サイドバーの上部にある Horizon ロゴをクリックして、[ログオフ] をクリックします。</p>
高解像度ディスプレイ（Retina Macbook Pro など）があるマシンで高解像度モードを使用する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[高解像度モード] をオンにします。</p>
H.264 デコードを許可する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[H.264 デコードを許可する] をオンにします。詳細については、<a href="#">H.264 デコード</a>を参照してください。</p>
複数のモニターの使用	<p>(Chrome バージョン 55 以降のみ) サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[表示設定] を選択します。詳細については、<a href="#">複数のモニターの使用</a>を参照してください。</p>
ソフト キーボードを表示または消去する	<p>(iOS Safari のみ) サイドバーの上部にあるキーボード アイコンをクリックします。また、3 本の指で画面をタップして、ソフト キーボードを表示または消去することも可能です。</p>
ヘルプ トピックを表示する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックするか、サイドバーの上部にある Horizon ロゴをクリックして、[ヘルプ] をクリックします。</p>
[VMware Horizon について] ボックスを表示します。	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックするか、サイドバーの上部にある Horizon ロゴをクリックして、[バージョン情報] をクリックします。</p>

## テキストのコピーおよび貼り付け

リモート デスクトップおよびアプリケーションにテキストをコピーしたり、リモート デスクトップおよびアプリケーションからテキストをコピーしたりできます。View 管理者は、クライアント システムからリモート デスクトップまたはアプリケーションへのコピーおよび貼り付け操作のみを許可する、リモート デスクトップまたはアプリケーションからクライアント システムへのコピーおよび貼り付け操作のみを許可する、その両方を許可する、またはどちらも許可しないように、この機能を設定できます。

任意の Unicode の非 ASCII 文字を含め、最大で 1MB のテキストをコピーできます。クライアント システムからリモート デスクトップまたはアプリケーション、あるいはその逆にテキストをコピーできますが、貼り付けたテキストはプレーン テキストになります。

画像をコピーおよび貼り付けできません。リモート デスクトップとクライアント コンピュータのファイル システム間では、ファイルもコピーおよび貼り付けできません。

---

**注:** コピーおよび貼り付けの機能は、iOS Safari ではサポートされていません。

---

## コピーおよび貼り付け機能の使用

テキストをコピーして貼り付けるには、サイドバーの上部にある [コピーおよび貼り付け] ボタンを使用する必要があります。

この手順では、[コピーおよび貼り付け] ウィンドウを使用してローカル クライアント システムからリモート アプリケーションにテキストをコピーする方法や、リモート アプリケーションからローカル クライアント システムにテキストをコピーする方法を説明します。しかし、リモート アプリケーションとデスクトップ間でテキストをコピーしている場合には、通常と同じ操作でコピーおよび貼り付けすることができ、[コピーおよび貼り付け] ウィンドウを使用する必要はありません。

HTML Access のサイドバーの上部にあるボタンから開くことができる [コピーおよび貼り付け] ウィンドウは、ローカル システムのクリップボードとリモート マシンのクリップボードを同期する場合にのみ必要となります。

[コピーおよび貼り付け] ウィンドウのテキストは、ユーザーがコンテンツをコピーおよび貼り付けできる方向を示す次のメッセージのいずれかを表示します。

- このパネルを使用して、ローカルのクライアントとリモートデスクトップ/アプリケーション間にコピーおよび貼り付けします。
- このパネルを使用して、ローカルのクライアントからリモートデスクトップ/アプリケーションにコピーおよび貼り付けします。
- このパネルを使用して、リモートデスクトップ/アプリケーションからローカルのクライアントにコピーおよび貼り付けします。

### 前提条件

Mac を使用している場合、キーの組み合わせを使用して、テキストを選択、コピー、および貼り付ける際に、Command キーを Windows の Ctrl キーにマッピングする設定を有効にしていることを確認します。サイドバーにある [[設定] ウィンドウを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[Command + A、Command + C、Command + V、および Command + X を有効にする] をオンにします（このオプションは、Mac を使用している場合にのみ [設定] ウィンドウに表示されます）。

### 手順

- ◆ クライアント システムからリモート デスクトップやアプリケーションにテキストをコピーするには、以下の手順を実行します。
  - a ローカル クライアント アプリケーションでテキストをコピーします。
  - b ブラウザで、HTML Access サイドバー タブをクリックしてサイドバーを開き、サイドバーの上部にある [コピーおよび貼り付け] をクリックします。

[コピーおよび貼り付け] ウィンドウが表示されます。以前にコピーしたテキストがすでにウィンドウに表示されている場合、新しくコピーされたテキストを貼り付けると、そのテキストは置換されます。

- c Ctrl + V キー (Mac では Command + V キー) を押して、[コピーおよび貼り付け] ウィンドウにテキストを貼り付けます。  
「リモート クリップボードが同期されました」というメッセージが一時的に表示されます。
- d テキストを貼り付けるリモート アプリケーション内の場所をクリックして、Ctrl + V キーを押します。  
テキストがリモート アプリケーションに貼り付けられます。
- ◆ リモート デスクトップやアプリケーションからクライアント システムにテキストをコピーするには、以下の手順を実行します。
  - a リモート アプリケーションでテキストをコピーします。
  - b ブラウザで、HTML Access サイドバー タブをクリックしてサイドバーを開き、サイドバーの上部にある [コピーおよび貼り付け] をクリックします。  
すでにテキストが貼り付けられた状態で [コピーおよび貼り付け] ウィンドウが表示されます。「リモート クリップボードが同期されました」というメッセージが一時的に表示されます。
  - c [コピーおよび貼り付け] ウィンドウの中をクリックして、Ctrl + C キー (Mac では Command + C) を押して再度コピーします。  
この操作を実行するとテキストは選択されず、テキストを選択することはできません。「クリップボード パネルからコピーされました」というメッセージが一時的に表示されます。
  - d クライアント システムで、テキストを貼り付ける場所をクリックして、Ctrl + V キーを押します。  
テキストは、クライアント システムのアプリケーションに貼り付けられます。

## クライアントとリモート デスクトップ間でのファイルの転送

ファイル転送機能を使用して、クライアントとリモート デスクトップ間でファイルを転送（アップロードとダウンロード）できます。アプリケーションへの（または、アプリケーションからの）ファイル転送はサポートされません。

Horizon 管理者は、ファイルの転送を許可、禁止、または一方向のみ許可できる機能を構成できます。デフォルトはアップロードのみです。

ダウンロードの場合の最大ファイル サイズは 500 MB、アップロードの場合の最大ファイル サイズは 2 GB です。32 ビット Internet Explorer 11 の場合、300 MB より大きなファイルのダウンロードは機能しない場合があります。この問題を解決するには、Internet Explorer 11 を 64 ビット モードで 実行します。

フォルダまたはサイズがゼロのファイルのダウンロードまたはアップロードはできません。

iOS の Safari および Safari 8 はアップロードもダウンロードもサポートしません。Safari 9 以降では、ダウンロードをサポートしていません。

ファイル転送がデスクトップ セッションで進行中の状態で、ユーザーが 2 つ目のデスクトップに対する接続を開き、かつセキュリティ警告が表示された場合（たとえば、有効な証明書がインストールされなかった場合に警告が表示される）、この警告を無視して 2 つ目のデスクトップとの接続を継続した場合、最初のデスクトップ セッションでのファイル転送は中断することになります。これは、想定どおりの動作です。

**注:** ダウンロード機能は、クリップボード リダイレクトに対するグループ ポリシー設定の影響を受けます。サーバからクライアントへのクリップボード リダイレクトが無効になっている場合、ファイルのダウンロードも無効になります。

## デスクトップからクライアントにファイルをダウンロード

Horizon Client で、リモート デスクトップからクライアント マシンにファイルをダウンロードできます。

### 手順

- 1 サイドバーの上部にあるファイル転送アイコンをクリックします。  
[[転送ファイル]] ウィンドウが開きます。
- 2 [ダウンロード] をクリックします。
- 3 リモート デスクトップの 1 つ以上のファイルを選択します。
- 4 Ctrl + C キーを押して、ダウンロードを開始します。
- 5 ダウンロードの完了後、ダウンロード アイコンをクリックしてクライアント マシンにファイルを保存します。

## クライアントからデスクトップへファイルのアップロード

Horizon Client で、クライアント マシンからリモート デスクトップへファイルをアップロードできます。

### 手順

- 1 サイドバーの上部にある ファイル転送アイコンをクリックします。  
[転送ファイル] ウィンドウが開きます。
- 2 [アップロード] をクリックします。
- 3 [転送ファイル] ウィンドウへ ファイルをドラッグアンド ドロップするか、[ファイルの選択] をクリックしてファイルを選択します。

選択されたファイルは、My Documents フォルダへアップロードされます。

Internet Explorer 11 および ChromeBook の Chrome では、フォルダ、ゼロ サイズのファイル、あるいは 2 GB を超えるファイルをドラッグアンド ドロップすると、予測通りエラー メッセージが表示されます。エラー メッセージを閉じた後は、転送可能なファイルのドラッグアンド ドロップはできません。

## DPI 同期の使用

DPI 同期機能によって、新しいリモート セッションでリモート デスクトップの DPI 設定がクライアント マシンの DPI 設定と必ず一致するようになります。新しいセッションを開始するときに、Horizon Agent によって、クライアント マシンの DPI 値と一致するようにリモート デスクトップの DPI 値が設定されます。

DPI 同期機能によって、アクティブなリモート セッションの DPI 設定を変更することはできません。既存のリモート セッションに再接続する場合、ディスプレイのスケーリング機能によって、リモート デスクトップやアプリケーションが適切にスケーリングされます。

[設定] ウィンドウで [高解像度モード] が無効な場合に、DPI 同期機能は有効になります。HTML Access バージョン 4.5 以降では、管理者が Horizon Agent[DPI 同期] グループ ポリシー設定を無効にすると、DPI 同期機能を無効にできますが、ディスプレイのスケーリング機能は無効にできません。設定の変更を有効にするには、ログアウトしてからもう一度ログインする必要があります。詳細については、『Horizon 7 でのリモート デスクトップ機能の構成』を参照してください。

DPI 同期機能を使用する場合、シングルセッションのデスクトップでは Windows 7 以降、RDS ホストの公開デスクトップやアプリケーションでは Windows Server 2008 R2 以降、Horizon Agent 7.0.2 以降、および HTML Access バージョン 4.4 以降が必要となります。

DPI 同期機能を使用するときのヒントを、次に説明します。

- クライアント マシンで DPI 設定を変更する場合、Horizon Client にクライアント マシンの新しい DPI 設定を認識させるため、ログアウトしてからもう一度ログインする必要があります。クライアント マシンで Windows 10 が実行されている場合でも、この要件は適用されます。
- DPI 設定が 100 パーセント以上になっているクライアント マシンでリモート セッションを開始してから、100 パーセント以上の異なる DPI 設定になっている別のクライアント マシンで同じセッションを使用する場合、2 番目のクライアント マシンで DPI を同期するには、2 番目のクライアント マシンでログアウトしてから再度ログインしてセッションに戻る必要があります。
- Windows 10 および Windows 8.x マシンは異なるモニターで異なる DPI 設定をサポートしますが、HTML Access クライアント セッションの起動に使用された Web ブラウザがあるクライアント マシンのモニターで設定された DPI 値が、DPI 同期機能で使用されます。HTML Access は、異なるモニターで異なる DPI 設定をサポートしません。
- 別の DPI 設定を使用して別のモニターと同期する場合は、リモート デスクトップまたはアプリケーションからログアウトし、HTML Access クライアント セッションの起動に使用された Web ブラウザを他のモニターにドラッグしてから、リモート デスクトップまたはアプリケーションに再ログインして、クライアント システムとリモート デスクトップやアプリケーションの DPI 設定を一致させます。

## 外部デバイスの使用

Horizon Client のリモート デスクトップとアプリケーションで、外部キーボード、外部ディスプレイ、マイクなどの外部デバイスを使用できます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- [国際キーボード](#)
- [スクリーン解像度](#)
- [複数のモニターの使用](#)
- [音声](#)
- [Web カメラとマイクでリアルタイム オーディオ ビデオ機能を使用](#)

### 国際キーボード

英語以外のキーボードとロケールを使用している場合、クライアント システム、ブラウザおよびリモート デスクトップで特定の設定を使用する必要があります。一部の言語では、リモート デスクトップで IME (Input Method Editor) を使用する必要があります。

ローカル設定とインプット メソッドを正しくインストールすれば、以下の言語で文字を入力できます：英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、およびスペイン語。

表 5-1. 必要な入力言語設定

言語	ローカル クライアント システムの入力言語	ローカル クライアント システムで IME が必要かどうか	リモート デスクトップのブラウザと入力言語	リモート デスクトップで IME は必要か
英語	英語	いいえ	英語	いいえ
フランス語	フランス語	いいえ	フランス語	いいえ
ドイツ語	ドイツ語	いいえ	ドイツ語	いいえ
簡体中国語	簡体中国語	英語入力モード	簡体中国語	はい
繁体中国語	繁体中国語	英語入力モード	繁体中国語	はい
日本語	日本語	英語入力モード	日本語	はい
韓国語	韓国語	英語入力モード	韓国語	はい
スペイン語	スペイン語	いいえ	スペイン語	いいえ



## スクリーン解像度

Horizon Administrator が適切な容量のビデオ RAM で構成されていると、Web Client でリモート デスクトップのサイズをブラウザ ウィンドウのサイズに合わせて変更できます。ビデオ RAM のデフォルト設定は 36MB で、3D アプリケーションを使用しなければ、最小要件の 16MB よりも快適な環境となります。

Retina ディスプレイの Macbook や Google Chromebook Pixel など、ピクセル密度解像度が高いブラウザや Chrome デバイスを使用している場合は、その解像度を使用するようにリモート デスクトップやアプリケーションを設定できます。[設定] ウィンドウで [高解像度モード] オプションをオンにします。このウィンドウには、サイドバーからアクセスできます。このオプションが [設定] ウィンドウに表示されるのは、高解像度ディスプレイを使用しているか、通常の画面を 100% を超えるスケールで使用している場合だけです。

## 複数のモニターの使用

Chrome ブラウザ（バージョン 55 以降）を使用すると、HTML Access Web client でマルチモニタを使用してリモート デスクトップ ウィンドウを表示できます。

プライマリ モニターに最大で 1 台のモニターを追加して、接続している現在のリモート デスクトップ ウィンドウを表示できます。たとえば、3 台のモニターがある場合、リモート デスクトップ ウィンドウを 2 台のモニターにのみ表示するように指定できます。マルチモニタのセットアップでは、隣接するモニターを選択する必要があります。モニターは横または縦に並べて配置できます。

HTML Access Web client 4.5 以降では、マルチモニタ機能を有効にすると、デバイスごとに DPI 同期が適用されます。DPI の設定が異なる 2 台のモニターを使用している場合、HTML Access Agent の DPI は、HTML Access Web client セッションを使用したクライアント マシンのモニターの DPI と同じ値に設定されます。

### 手順

- 1 Horizon Client を起動し、サーバにログインします。
- 2 デスクトップとアプリケーションの選択ウィンドウで、アクセスするリモート デスクトップのアイコンをクリックします。
- 3 サイドバーを表示するには、サイドバーのタブをクリックします。
- 4 サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[表示設定] をクリックします。
- 5 [表示設定] ダイアログ ボックスで、[ディスプレイの追加] をクリックします。

---

**注:** [ディスプレイ セレクタ] ブラウザ ウィンドウが表示されない場合、Horizon サーバの FQDN アドレスをブラウザの [コンテンツの設定] ウィンドウの [ポップアップの例外] セクションに追加します。

---

- 6 [ディスプレイ セレクタ] ウィンドウをドラッグして、使用する別のモニターのディスプレイに表示させます。

[ディスプレイ セレクタ] ブラウザ ウィンドウのメッセージが変わり、グレーの長方形のアイコンが追加されます。

- 7 [ディスプレイ セレクタ] ブラウザ ウィンドウで、[+] モニター アイコンをクリックして、現在のモニター ディスプレイを使用することを確認します。

他のディスプレイを待機していますというメッセージが、現在のモニター ディスプレイに表示され、プライマリ ディスプレイの [表示設定] ウィンドウにあるグレーのモニター アイコンが緑色に変わります。

- 8 セッションに使用するモニター ディスプレイを追加したら、[表示設定] ウィンドウで [OK] をクリックします。  
[表示設定] ウィンドウが閉じられ、プライマリではないモニターのディスプレイで他のディスプレイを待機していますというメッセージがクリアされ、リモート デスクトップ ウィンドウが表示されます。
- 9 マルチ ディスプレイ モードを終了するには、Esc キーを押して、[マルチ ディスプレイ モードの終了] ダイアログ ボックスで [はい] をクリックして、終了することを確認します。

---

**注:** リモート デスクトップで Esc キーを使用する必要がある場合には、毎回、サイドバー タブを開き、サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックし、[ESC の送信] を選択します。

---

## 音声

リモート デスクトップおよびアプリケーションで音声を再生できますが、いくつか制限があります。

デフォルトでは、リモート デスクトップおよびアプリケーションでの音声の再生が有効になっていますが、View 管理者がポリシーを設定することで、音声の再生を無効にできます。

以下のガイドラインを考慮してください。

- 音量を上げるには、リモート デスクトップやアプリケーションのサウンド コントロールではなく、クライアント システムのサウンド コントロールを使用します。
- 時々、音声ビデオと同期なくなることがあります。
- ネットワーク トラフィックが集中していたり、ブラウザが大量のタスク (I/O) を実行中であったりすると、音質が低下することがあります。使用するブラウザを変えると改善されることがあります。

## Web カメラとマイクでリアルタイム オーディオ ビデオ機能を使用

リアルタイム オーディオビデオ機能を使用すれば、リモート デスクトップやアプリケーションでクライアント マシンの Web カメラまたはマイクروفオンを使用できます。リアルタイム オーディオ ビデオは、標準的な会議アプリケーションおよびブラウザベースのビデオ アプリケーションと互換性があり、標準的な webcam、オーディオ USB デバイス、およびアナログ オーディオ入力をサポートします。

リアルタイム オーディオビデオは、Chrome、Microsoft Edge、および Firefox でのみサポートされます。デフォルト ビデオ解像度は 320 x 240 です。リアルタイム オーディオビデオのデフォルト設定は、ほとんどの Web カメラおよびオーディオ アプリケーションで適切に機能します。リアルタイム オーディオビデオの設定変更の詳細については、『Horizon 7 でのリモート デスクトップ機能の構成』の「リアルタイム オーディオ ビデオ グループ ポリシ 設定の構成」を参照してください。

リモート デスクトップやアプリケーションがクライアント マシンの Web カメラやマイクロフォンに接続している場合、Web カメラやマイクロフォンがリモート デスクトップやアプリケーションで使えるようになる前に、ブラウザから許可を求められる場合があります。この動作はブラウザによって異なります。

- Microsoft Edge は毎回許可を要求します。この動作は変更できません。詳細については、<https://blogs.windows.com/msedgedev/2015/05/13/announcing-media-capture-functionality-in-microsoft-edge> を参照してください。
- Firefox は毎回許可を要求してきます。この動作は変更できます。詳細については、<https://support.mozilla.org/en-US/kb/permissions-manager-give-ability-store-passwords-set-cookies-more?redirectlocale=en-US&redirectslug=how-do-i-manage-website-permissions> を参照してください。
- Chrome は、初回に許可を要求します。デバイスの使用を許可すると、Chrome は再度許可を要求しなくなります。

リモート デスクトップがクライアント マシンの Web カメラまたはマイクロフォンに接続されると、各デバイスのアイコンがサイド バーの上部に表示されます。サイドバーのデバイス アイコンの上に赤色のクエスチョン マークが表示され、許可が要求されていることが示されます。デバイスの使用を許可すると、赤色のクエスチョン マークは非表示になります。許可の要求を拒否すると、デバイスのアイコンが非表示になります。

リモート デスクトップやアプリケーションのセッションでリアルタイム オーディオビデオを使用しており、セカンド デスクトップやアプリケーションへの接続するときに、セキュリティの警告が表示される場合（たとえば、有効な証明書がインストールされていないなど）、この警告を無視してセカンド デスクトップやアプリケーションへの接続を続行すると、最初のセッションでリアルタイム オーディオビデオの動作が停止します。

# Horizon Client のトラブルシューティング

# 6

デスクトップをリセットするか、アプリケーションを再インストールすることによって、Horizon Client のほとんどの問題を解決できます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- リモート デスクトップの再起動
- リモート デスクトップまたはリモート アプリケーションのリセット
- Workspace ONE モードでのサーバへの接続

## リモート デスクトップの再起動

デスクトップ オペレーティング システムが応答しなくなった場合、リモート デスクトップの再起動が必要な場合があります。リモート デスクトップの再起動は、Windows オペレーティング システムを再起動することと同じです。デスクトップ オペレーティング システムでは、通常、再起動する前に未保存データを保存するよう求められます。

Horizon 管理者がデスクトップの再起動機能を有効にしている場合にのみ、リモート デスクトップを再起動できます。

### 手順

- ◆ [再起動] コマンドを使用します。

オプション	アクション
サイドバーから	リモート デスクトップに接続しているときに、サイドバーの [実行中] リストにあるデスクトップ名の横の [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[再起動] を選択します。
URI の使用	デスクトップを再起動するには、URI <code>https://ConnectionServerFQDN?desktopId=desktop_name&amp;action=restart</code> を使用します。

リモート デスクトップのオペレーティング システムが再起動し、Horizon Client がデスクトップから切断され、ログオフされます。

### 次のステップ

システムが完全に起動するまで待機してから、リモート デスクトップへの再接続します。

リモート デスクトップを再起動しても問題が解決しない場合、リモート デスクトップをリセットする必要がある場合があります。リモート デスクトップまたはリモート アプリケーションのリセットを参照してください。

## リモート デスクトップまたはリモート アプリケーションのリセット

デスクトップ オペレーティング システムが応答を停止し、リモート デスクトップを再起動しても問題が解決しない場合は、リモート デスクトップをリセットする必要がある場合があります。リモート アプリケーションをリセットすると、開いているすべてのアプリケーションが終了します。

リモート デスクトップをリセットする操作は、物理的な PC を強制的に再起動するためにその PC のリセット ボタンを押す操作に相当します。リモート デスクトップで開いているすべてのファイルが閉じられますが、保存されません。

リモート アプリケーションをリセットすることは、未保存データを保存せずにすべてのアプリケーションを終了することと同じことです。複数の RDS サーバ ファームから提供されているアプリケーションであっても、開いているリモート アプリケーションはすべて閉じます。

Horizon 管理者がデスクトップのリセット機能を有効にしている場合にのみ、リモート デスクトップをリセットできます。

### 手順

- ◆ [リセット] コマンドを使用します。

オプション	アクション
アプリケーションの選択画面からリモート アプリケーションをリセットする	リモート デスクトップやリモート アプリケーションに接続する前に、デスクトップおよびアプリケーション選択画面から実行中のすべてのリモート アプリケーションをリセットするには、画面の右上隅にある [設定] ツールバー ボタンをクリックして、[リセット] をクリックします。
サイドバーからリモート デスクトップをリセットする	リモート デスクトップに接続しているときに、サイドバーの [実行中] リストにあるデスクトップ名の横の [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[リセット] を選択します。
サイドバーからリモート アプリケーションをリセットする	実行中のすべてのアプリケーションをリセットするには、サイドバーの上部にある [[設定] ウィンドウを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[リセット] をクリックします。
URI を使用したリモート デスクトップのリセット	リモート デスクトップをリセットするには、URI <code>https://ConnectionServerFQDN?desktopId=desktop_name&amp;action=reset</code> を使用します。

リモート デスクトップをリセットすると、リモート デスクトップのオペレーティング システムが再起動し、Horizon Client がデスクトップから切断され、ログオフされます。リモート アプリケーションをリセットすると、そのアプリケーションは終了します。

### 次のステップ

システムが完全に起動するまで待機してから、リモート デスクトップやアプリケーションに再接続します。

## Workspace ONE モードでのサーバへの接続

Horizon 7 バージョン 7.2 以降では、管理者が接続サーバ インスタンスで Workspace ONE モードを有効にできません。

Workspace ONE モードが有効な場合、Workspace ONE Web ポータルを介してサーバに接続できます。HTML Access 経由でサーバに接続しようとする、Workspace ONE Web ポータルにリダイレクトされます。Workspace ONE Web ポータル経由でサーバに接続すると、Workspace ONE Web ポータル経由でのみリモート デスクトップとアプリケーションを開始できます。

Workspace ONE モードを有効にすると、次の問題が発生することがあります。

- HTML Access を介してサーバに接続できません。サーバに接続できないか、サーバが別のアプリケーションまたはサーバのログイン認証情報を想定していることを示すメッセージが表示されます。
- Workspace ONE Web ポータル経由でデスクトップまたはアプリケーションを開始すると、HTML Access でリモート デスクトップとアプリケーションを表示または開始できません。